

「高松市学校施設整備指針（案）」についてのパブリックコメント実施結果

本市教育委員会では、平成29年1月16日（月）から平成29年2月15日（水）までの期間、「高松市学校施設整備指針（案）」についてのパブリックコメントを実施しました。いただいた御意見の要旨及びそれに対する本市教育委員会の考え方を以下のとおりまとめましたので、公表いたします。

1. 意見総数： 2件（ 2人）

2. いただいた御意見

※ 提出いただいた御意見等は趣旨を変えない範囲で、簡素化又は文言等の調整をしているものがあります。

NO.	御意見（要旨）	本市の考え方
1	<p>（1）高松市学校施設整備指針（案）の内容について</p> <p>① 鉄筋コンクリート造り3F～4Fの校舎の、場合には1Fか2Fに減築して、構造物の耐荷重負担を、減らして耐震改修を行えば建物の長寿命化使用が、可能かと思えます。</p> <p>当面の人口減少社会に対応可能と思えます。また、震災時の救助物資の保管場所など、その他のために使用出来るかと思えます。</p> <p>時代が移り変わり、その場所が他のことに使用する必要がある目的になれば、その時点で全面解体して、使用検討する事もできると思えます。その方が現時点での費用対効果が良いのではないかと思います。</p>	<p>本指針においては、今後、長寿命化の考えを取り入れた整備を進めていく際に、「防災機能の強化」や「地域との連携」などとともに、「施設規模の適正化」を配慮すべき事項として、盛り込んでいるところでございます。</p> <p>今後、児童生徒数の減少が予想される中で、空きスペースの有効活用をより一層進めるとともに、学校施設が地域の核になることも視野に入れながら、地域の実情に応じ、他の公共施設との複合化・共有化を図ることや、保有施設のうち不要となった部分を取り壊す「減築」を行う検討も必要と考えておりました。これらの事項を配慮しながら、計画的な整備に取り組んでまいりたいと存じます。</p>

NO.	御意見（要旨）	本市の考え方
2	<p>(1) 高松市学校施設整備指針（案）の内容について</p> <p>① 施設の長寿命化、改築に合わせて各小学校区に設置されているコミュニティ協議会と運営するコミュニティセンターとの連携が行われやすくするため、地域が学校運営に参加できる「学校運営協議会」の設置を求めます。</p> <p>場合によっては、施設（学校とコミュニティセンター）の共有化も視野に入れてもよいのではないかと思います。学校運営は、PTAも含めて疲弊していると思います。地域の活性化、再生にとって未来ある子ども達は、かかすことのできない大切な宝です。施設整備と学校運営の改善を同時進行で。</p> <p>地域は、なんとかして子ども達を巻き込んだ活動や事業をやっていこうとしています。が現実には、学校やPTAの協力なしでは、実行できません。地域の学校であるという根本的な考え方が大切であるし、忘れてはならないと思います。</p>	<p>本市におきましては、コミュニティ協議会が全地域に組織されており、学校・家庭・地域が連携して子どもを育てる環境が整っており、支援をいただける団体が多く存在しているものの、関係者が一度に集まって連絡・調整や御意見をいただく場、組織が整備されていないのが現状です。</p> <p>そこで、教育委員会では、高松型の学校運営協議会を設置し、関係者が集まって連絡・調整を行ったり、御意見や情報をいただいたりすることができる体制づくりを目指しています。</p> <p>この、高松型の学校運営協議会により、「地域とともにある学校」として、学校が地域と連携・協力することにより、児童生徒の多様な学びを保障し、学校を取り巻く社会の課題である、社会性や規範意識の醸成等に努めるとともに、防災や文化活動等において地域に貢献したいと考えています。</p>